

# Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 151 2011. 12. 16.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

## 原発問題を考えよう！

### 核武装のために危険覚悟で原発推進！！

これまで「原発問題を考えよう！」で5回にわたり、プルサーマルは余剰プルトニウムを燃やして消費することが目的で、大変危険性があり、経済的にも問題があることを明らかにしてきました。

現在、日本は長崎に投下された原爆（プルトニウム原爆）に換算して2000発以上、40トン以上のプルトニウムを保有していると言われており、日本が大量にプルトニウムを保有することに対し、2010年6月、国際原子力機関（IAEA）の理事会で核疑惑（核兵器開発）が疑われているイランの大使が「日本はトン単位でプルトニウムを保有している」と日本を公然と非難しました。

これに対して日本は「プルトニウム全量を燃料として使用目的があるので余剰ではない」と言い訳していますが、この余剰プルトニウムを消費（再利用）するための核燃料サイクルの要である高速増殖炉「もんじゅ」はトラブルで運転の目処すら立たず、苦肉の策であるプルサーマルも計画通りに進んでいません。

このように核燃料サイクルは事実上破綻しており、余剰プルトニウムは減るどころかこの先も原発を稼働させている限り、プルトニウムは増え続けていき、国際的な非難の対象になることは間違いありません。

### プルトニウムを生み出す原発は全面停止するべき！！

日本には「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則があり、国是として核武装は否定しています。日本国民として、これからも非核三原則が守られることを信じたいですが、非核三原則堅持論者ばかりではありません。

日本の首都東京の石原都知事は、今年3月「世界唯一核の脅威に直面している日本は核武装して中国の脅威に対抗するべきだ」と持論を展開するなど度々核武装を口にし、また、先日大阪市長選挙で大阪市長に当選した橋下前大阪府知事もかつては核武装論を主張していました。つまり日本の2大都市の首長、首長だった人が核武装論者なのです。

他にも皆さんがよく知る櫻井よしこ氏（ジャーナリスト）は、今年鹿児島島の講演会で「核をつくる技術が外交的強さにつながる、原発の技術は軍事面でも大きな意味を持つ」と核武装のために原発を維持するべき、また「原発を忌避するのではなく、二度と起こさないようにする姿勢こそ必要」と講演したそうです。このリスク（日本国民の生命に危険を及ぼしてまで）を承知で原発を推進しようとする姿勢は葛西会長と共通しており、大変危険な考えです。

核燃料サイクルは、当初の計画通りに進まず見通しすら立たないのに経済性を無視し、プルトニウムを溜め込んでいる目的は、櫻井よしこ氏が主張しているように「核（兵器）を作るため」「軍事面のため」と言えるのではないのでしょうか。

だからこそ、『非核三原則を守るため』『決して核武装することがないように』原爆の材料である危険なプルトニウムを生み出す原発は直ちに全面停止することを求めて、私たち一人一人が行動していかなければなりません

**明日の日本のためにも原発問題を考え、行動しましょう！**